

令和 8 年 1 月 16 日

報道機関各位

危機管理局原子力安全対策課長

ウラン濃縮工場に関する定期報告書の訂正について

令和 7 年 4 月 30 日付けで提供した標記について、日本原燃（株）から一部誤記があった旨報告がありましたので、お知らせします。

○ 訂正箇所及びその内容

令和 7 年 4 月 30 日付け 2025 濃運発第 24 号「六ヶ所ウラン濃縮工場に係る定期報告書（令和 7 年 3 月及び令和 6 年度第 4 四半期報告）

6. 核燃料物質の在庫量（令和 7 年 3 月末現在）

正	ウラン濃縮施設					(単位：本)
	天然ウラン	濃縮ウラン	劣化ウラン	回収した付着ウラン		
在庫量	32	145	1143	6		

誤	ウラン濃縮施設					(単位：本)
	天然ウラン	濃縮ウラン	劣化ウラン	回収した付着ウラン		
在庫量	32	146	1144	7		

報道機関用提供資料（連絡先）			
担当課		危機管理局原子力安全対策課 課長代理 奥野 直子	
電話	(内線)	6487	
番号	(直通)	017-734-9253	
報道監		危機管理局 次長 佐藤 広之	

六ヶ所ウラン濃縮工場に係る定期報告書の訂正
(令和7年3月及び令和6年度第4四半期報告)

2025 濃運発第129号
令和8年1月16日

青森県危機管理局
原子力安全対策課長
神 正志 殿

日本原燃株式会社
執行役員
濃縮事業部長
西條 政明

令和7年4月30日に提出した六ヶ所ウラン濃縮工場周辺地域の安全確保及び環境保全に関する協定第10条第1項の規定に基づく細則第6条第1項の下記事項について別紙のとおり訂正したことから報告します。

記

1. 運転状況及び主要な保守状況
2. 放射線業務従事者の被ばく状況
(四半期毎の報告月に限り記載する。)
3. 女子の放射線業務従事者の被ばく状況
(四半期毎の報告月に限り記載する。)
4. 放射性物質及びフッ素化合物の放出状況
5. 放射性廃棄物の保管廃棄量
6. 核燃料物質の在庫量
(半期毎の報告月に限り記載する。)

1. 運転状況及び主要な保守状況（令和7年3月分）

		令和7年3月
運 転 状 況	RE-1A	※ 1
	RE-1B	※ 2
	RE-1C	※ 3
	RE-1D	※ 4
	RE-2A	※ 5
	RE-2B	※ 6
	RE-2C	※ 7
主要な保守状況	定期事業者検査 • カスケード設備 • 高周波電源設備 • UF6処理設備 • 気体廃棄物の廃棄設備 • 放射線監視・測定設備 • 通信連絡設備	
(備考)	※ 1 RE-1A : 運転停止中(H12. 4. 3～) ※ 2 RE-1B : 運転停止中(H14. 12. 19～) ※ 3 RE-1C : 運転停止中(H15. 6. 30～) ※ 4 RE-1D : 運転停止中(H17. 11. 30～) ※ 5 RE-2A : 運転中 • 150tSWU/年のうち75tSWU/年は、R5年8月25日に運転開始、R6年7月9日より濃縮ウランの生産開始。 • 150tSWU/年のうち75tSWU/年は、R6年7月30日に運転開始、濃縮ウランの生産に向けて準備作業中。 ※ 6 RE-2B : 運転停止中(H22. 12. 15～) ※ 7 RE-2C : 運転停止中(H20. 2. 12～)	

2. 放射線業務従事者の被ばく状況（令和6年度第4四半期分）

ウラン濃縮施設

(単位：人)

	放射線 業務従 事者数	線量 (mSv) 区別放射線業務従事者数					
		5 以下 15以下	5 を超え 15以下	15を超 20以下	20を超 25以下	25を超 50以下	50を超 るもの
当該四半期	504	504	0	0	0	0	0
年度	743	743	0	0	0	0	0

その他施設（研究開発棟）

(単位：人)

	放射線 業務従 事者数	線量 (mSv) 区別放射線業務従事者数					
		5 以下 15以下	5 を超え 15以下	15を超 20以下	20を超 25以下	25を超 50以下	50を超 るもの
当該四半期	91	91	0	0	0	0	0
年度	204	204	0	0	0	0	0

(注1) 5 mSv以下については、被ばく線量が検出限界未満の放射線業務従事者を含む。

(注2) 四半期毎の報告月に限り記載する。（年度については第4四半期に限り記載する。）

3. 女子の放射線業務従事者の被ばく状況（令和6年度第4四半期分）

ウラン濃縮施設

(単位：人)

放射線業務従事者数	3月間の線量 (mSv) 区別放射線業務従事者数			
	1 以下	1 を超え 2 以下	2 を超え 5 以下	5 を超 るもの
20	20	0	0	0

その他施設（研究開発棟）

(単位：人)

放射線業務従事者数	3月間の線量 (mSv) 区別放射線業務従事者数			
	1 以下	1 を超え 2 以下	2 を超え 5 以下	5 を超 るもの
4	4	0	0	0

(注1) 1 mSv以下については、被ばく線量が検出限界未満の放射線業務従事者を含む。

(注2) 妊娠不能と診断された者及び妊娠の意思のない旨を書面で申し出た者を除く。

(注3) 四半期毎の報告月に限り記載する。

4. 放射性物質及びフッ素化合物の放出状況（令和7年3月分）
ウラン濃縮施設

放射性廃棄物等の種類		測定の箇所	平均濃度	
ウラン	気体	排気口	N D	(Bq/cm ³)
	液体	処理水ピット	N D	(Bq/cm ³)
フッ素化合物	気体 (HF)	排気口	N D	(mg/m ³)
	液体 (F)	処理水ピット	N D	(mg/リットル)

その他施設（研究開発棟）

放射性廃棄物等の種類		測定の箇所	平均濃度	
ウラン	気体	排 気 口	N D	(Bq/cm ³)
	液 体	処理水ピット	放出実績なし	(Bq/cm ³)
フッ素化合物	気 体 (HF)	排 気 口	N D	(mg/m ³)
	液 体 (F)	処理水ピット	放出実績なし	(mg/リットル)

(注) N Dは、検出限界未満を示す。

5. 放射性廃棄物の保管廃棄量（令和7年3月分）

ウラン濃縮施設

(単位：本)

放射性廃棄物の種類	当該期間の保管廃棄量	累積保管廃棄量
放射性固体廃棄物 (使用済遠心機を除く)	26	15,591
放射性液体廃棄物	0	62
付着ウラン回収に伴い発生する 放射性液体廃棄物	0	61
付着ウラン回収に伴い発生する 放射性気体廃棄物	0	0

(単位：tSWU／年相当分)

放射性廃棄物の種類	当該期間の保管廃棄量	累積保管廃棄量
放射性固体廃棄物 (使用済遠心機)	27	177

その他施設（研究開発棟）

(単位：本)

放射性廃棄物の種類	当該期間の保管廃棄量	累積保管廃棄量
放射性固体廃棄物	18	1,392
放射性液体廃棄物	0	53

(注1) 放射性固体廃棄物（使用済遠心機を除く）および放射性固体廃棄物については、200リットルドラム缶換算本数で示す。

(注2) 放射性液体廃棄物については、20リットルドラム缶換算本数で示す。

(注3) 付着ウラン回収に伴い発生する放射性液体廃棄物および付着ウラン回収に伴い発生する放射性気体廃棄物については、80kgボンベ換算本数で示す。

(注4) 放射性固体廃棄物（使用済遠心機）については、遠心分離機の分離作業能力換算数で示す。

6. 核燃料物質の在庫量（令和7年3月末現在）

ウラン濃縮施設

(単位：本)

	天然ウラン	濃縮ウラン	劣化ウラン	回収した 付着ウラン
在庫量	32	<u>145</u> *	<u>1143</u> *	<u>6</u> *

その他施設（研究開発棟）

(単位：本)

	天然ウラン	濃縮ウラン	劣化ウラン
在庫量	2	0	0

(注1) 六フッ化ウランの在庫量をシリンドラ本数で示す。

(注2) 半期毎の報告月に限り記載する。

※ 誤記箇所の訂正